

各団体の主な取り組み

■ BA-6 アドベンチャートラベル推進

令和3年9月20日（月）～24（金）※阿寒DMO等～オンライン参加
【アドベンチャートラベル・ワールド・サミット(ATWS)2021北海道】バーチャル開催
（北海道運輸局、北海道経済産業局、北海道）
・ATツアー磨き上げ（北海道運輸局、北海道）・ガイド研修（北海道）
・AT事業者広域連携・販路拡大支援、AT旅行会社（北海道運輸局）

■ NP-3 脱炭素化

・ゼロカーボンパーク登録

主な国立公園利用施設において2025年までにRE100の実現を目指す
（環境省、釧路市、弟子屈町、美幌町、足寄町）

■ AK-2、AK-3、AK-7 阿寒湖温泉

・ロストカムイ、カムイルミナ実施
・アイヌアートギャラリー本格オープン（2021年6月）
・チュルレイ島ツアー実施（2021年10月から）
・E-BIKE～旅行商品の開発（阿寒観光協会まちづくり推進機構）
■カムイルミナ
生態系影響調査実施（環境省）
■ AK-8
阿寒湖まりむ館（観光案内所）
・外国語対応スタッフ配置（釧路市）

■ ON-1 オンネトー

・新休憩舎【UPIオンネトー】



2022年6月オープン（足寄町）

■ KU-2

屈斜路カルデラ外輪山トレイル

（美幌峠・津別峠・藻琴山）
・コース整備、モニターツアー実施



（美幌地区3町広域観光協議会）

■ BA-3 3空港を繋ぐトレイル推進

・非動力ATツアー対応に向けたガイドライン作成・セミナー開催（運輸局）

■ KU-1（弟子屈町）

屈斜路湖の新たな利活用

・屈斜路湖、釧路川源流域利用実態調査実施

■ KU-1

屈斜路湖動力船規制

2021年10月開始（環境省）



■ AK-5 滝口自然探勝路

・2022年6月全区間開通（環境省）



■ AK-4 阿寒湖畔EMC

・2022年1月展示改修完了（環境省）

■ BA-4 阿寒摩周国立公園インナーブランディングの推進

・「自然の郷ものがたり」第2号発行
～旧阿寒町、弟子屈町の全戸に配布（環境省）

■ KA-5 摩周・屈斜路トレイル

・新規ルート検証、トレイル道標設置（弟子屈町）

■ KA-6 持続可能な観光地域づくり

・観光振興計画策定
・日本「持続可能な観光」地域協議会への参画（弟子屈町）

■ KA-7 川湯温泉川の魅力向上

・遊歩道の延長・整備
・川床清掃、ライトアップ、環境改善（弟子屈町、川湯地域運営協会）

■ KA-7 川湯の森ナイトミュージアム

・硫黄山ライトアップ、図鑑の森、森のマルシェ開催（環境省、摩周湖観光協会）

■ KA-1 川湯温泉街（廃屋撤去）

・2棟目(川湯プリンス)
2022年3月～撤去完了
・3棟目(御園ホテル)
2022年4月弟子屈町取得
今後撤去予定
・4棟目(川湯グランドホテル)
2022年2月弟子屈町取得
今後撤去予定



（川湯プリンス）（御園ホテル）（川湯グランド）
（環境省、弟子屈町）

■ KA-1

川湯温泉街DIY （摩周湖観光協会）



■ KA-2

川湯EMCインバウンド対応強化
2022年4月ビジターセンターに名称変更（環境省）

■ MA-3 裏摩周-神の子池トレイル、プログラム開発

・ルート調査、看板整備他
（きよさと観光協会、清里町）

■ MA-1 裏摩周園地

2021年7月
裏摩周
展望台リニューアル（環境省）

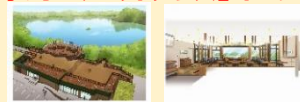
■ MA-5 摩周湖外輪山

・西別岳登山道再整備設計完了（環境省）

■ KA-4（弟子屈町振興公社） 官民連携による誘客促進

※REVIC連携協定事業

・2022年7月「摩周湖カムイテラス」オープン



■ KA-3 町民駐車場無料解放

・2022年9月から2025年まで
摩周湖・硫黄山（自然公園財団）

■ BA-6 アドベンチャートラベルの推進

・道東のAT向け自然ガイドブック「Wild Hokkaido」発行（環境省）

阿寒摩周国立公園における持続可能な観光と 目指すべき方向性について

「阿寒摩周国立公園における持続可能な観光地づくりに関する検討業務」より（地域経済循環分析を中心として）

令和 4 年 6 月 2 7 日

株式会社 北海道二十一世紀総合研究所

<この調査の目的>

- 持続可能な観光地づくりを推進する上で、前提となる地域経済循環の現状を把握する
 - 阿寒摩周地域の経済規模、産業経済構造の特徴を把握
 - 阿寒摩周地域で生み出された所得が効率的に地域内で循環しているかを把握
 - 持続可能な観光地を運営していくための経済循環の方向性
- 持続可能な観光地づくりを推進するために取組むべき方向性を整理
 - GSTC基準に基づく取組み方向
 - より多くの地域の事業者が参画して推進するための手法

<本日の話題提供の内容>

○阿寒摩周地域の経済構造、地域経済循環の現状と課題について

□阿寒摩周地域の経済構造の把握⇒阿寒摩周地域産業連関表の作成

- ：地域の経済規模の大きさを把握
- ：地域経済のリーディング産業を知る（事業所数や従業員数だけでなく、生産額・付加価値額等で把握する）
- ：地域外に依存する分野、地域外からの外貨を獲得する分野（地域産業の強み、弱み）を知る

□阿寒摩周地域の付加価値循環の把握⇒阿寒摩周地域の地域経済循環構造の推計

- ：地域で生み出された所得が地域にどれだけ還流されているか
- ：地域住民や企業、行政の消費や投資の財源がどのように確保され、消費の流出入、投資の流出入がどのような現状にあるかを知る

産業連関表について

□ 産業連関表とは

どこに売っているか →

← 何を買ったか。何に支払ったか ↓

		中間需要		最終需要部門			地域内需要	輸移入	地域内生産額
		産業(生産品目)	中間需要計	消費	投資	輸移出			
中間投入	産業(生産品目)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; color: red;"> 原料・資材・エネルギー等の取引 </div>							
	中間投入計								
付加価値	雇用者所得			≡ 地域内総支出					
	営業余剰								
	減価償却			≡ 地域内総生産					
	間接税等								
	付加価値計								
地域内生産額									

- 産業連関表は、一定地域において1年間に行われた財・サービスの産業間の取引、産業と家計などの最終消費者との取引、他地域との取引等の関係を一つの表にまとめたもの

- 産業連関表を作成しているところ（国内）

- 全国表（総務省）

- 5年ごとに作成、最新は平成27年表（令和元年公表）、次は令和2年表が令和令和6年～7年公表予定

- 都道府県表（各都府県、北海道は北海道開発局）

- 全国表が公表になった翌年に作成、公表

- 市町村表（各市町村もしくは地域の大学、経済関連の研究所）

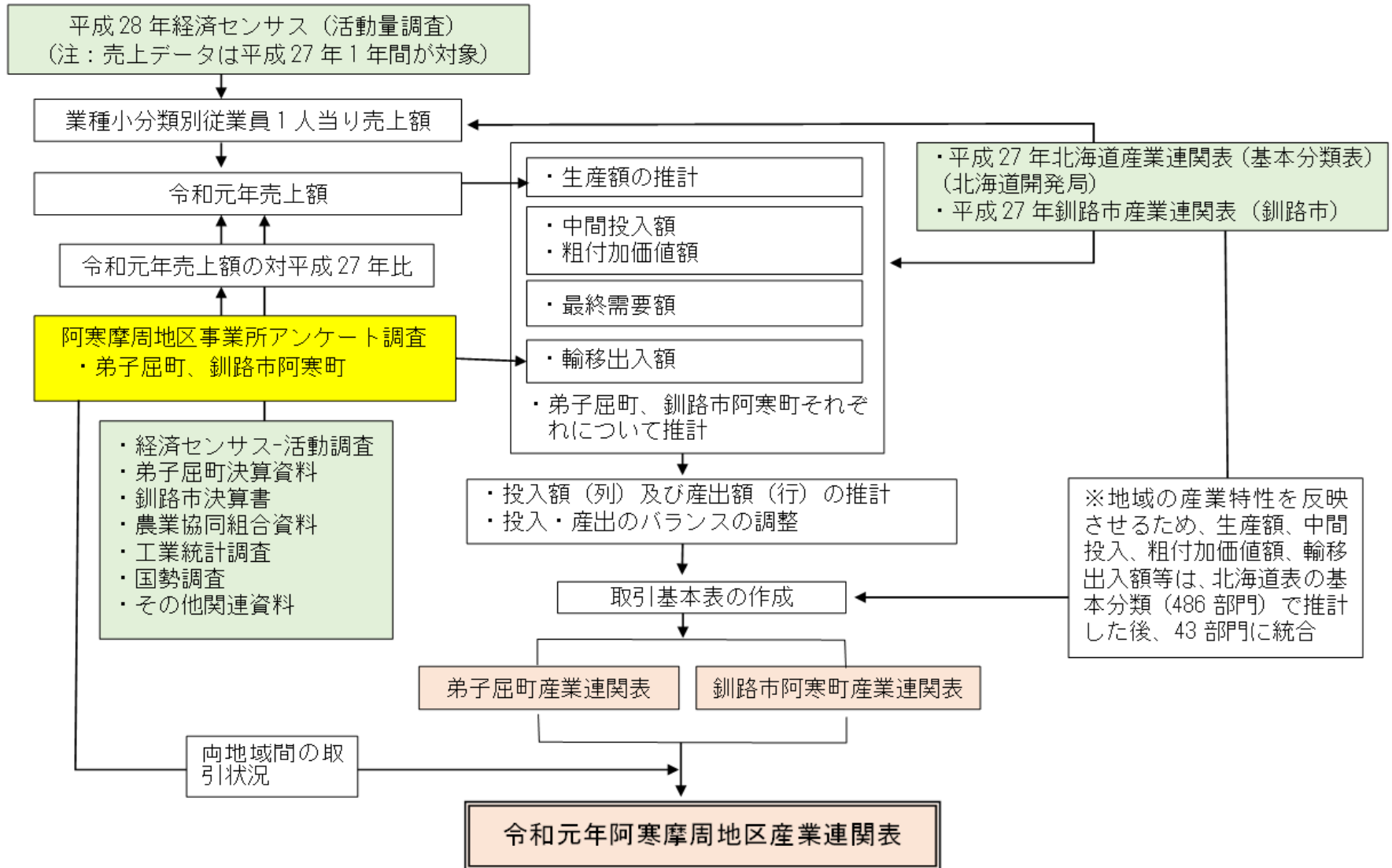
- 都道府県表が公表になった翌年に作成、公表
- 政令指定都市のほとんどは作成　その他の市町村表はまだ少ない

北海道における市町村産業連関表の作成状況

区 分	市町村名
継続的に作成している市町村	札幌市（昭和45年表～平成27年表） 釧路市（昭和45年表～平成27年表） 根室市（平成23年、平成27年、令和元年表） 下川町（平成20年表、平成27年表？）
これまでに作成したことのある市町村	小樽市（平成27年表）、美瑛町（令和元年表）、 別海町（平成23年表）、名寄市（平成27年表）、函館 市（平成24年表？）、富良野市（令和元年表） 旭川市（平成12年表まで）、帯広市（元年？）、 新得町（平成2年表？）、 中札内村（平成15、20年表）

阿寒摩周地域産業連関表の作成方法

阿寒摩周地域：・弟子屈町と釧路市阿寒町地区



令和元年阿寒摩周地区産業連関表（5部門表）

単位：億円

		中間需要					内生部門計	市内最終需要				域内需要計	輸移出	輸移入	域内生産額
		農林漁業	鉱工業	建設業	商業	その他サービス業等		消費支出	総固定資本形成	在庫純増	域内最終需要計				
中間投入	農林漁業	42	9	0	0	4	56	4	10	2	16	72	145	-61	156
	鉱工業	37	10	25	2	35	109	57	1	-0	57	166	35	-159	43
	建設業	0	0	0	0	1	2	0	55	0	55	57	86	-38	105
	商業	8	2	5	1	13	28	53	2	0	54	83	17	-41	59
	その他サービス業等	14	5	23	14	86	141	267	1	0	268	409	175	-194	391
内生部門計		101	27	53	17	139	337	380	69	2	451	787	458	-493	753
粗付加価値部門	雇用者所得	6	8	38	26	133	211	※基本表は43部門表							
	営業余剰	22	4	3	6	34	71								
	資本減耗引当	33	3	6	5	68	114								
	その他	-6	2	5	3	16	21								
粗付加価値部門計		55	16	52	42	252	416								
域内生産額		156	43	105	59	391	753								

注：表中の数値は、四捨五入を行っているため内訳の合計は必ずしも一致しない。

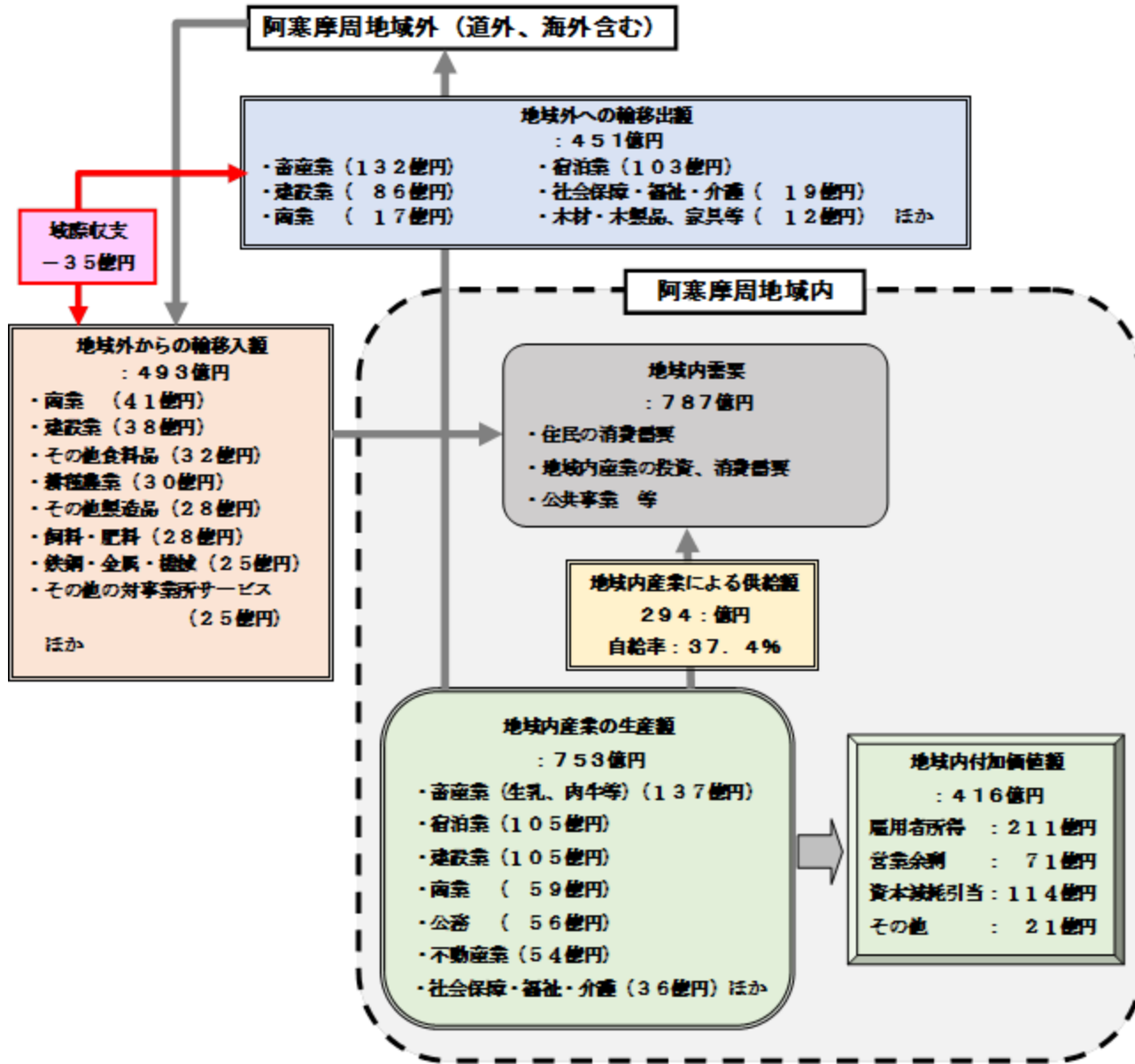
<阿寒周地域の経済構造>

単位:万円

	弟子屈町	釧路市阿寒町	計 (阿寒周地区)	備考(観光関連)
耕種農業	78,228	9,074	87,302	
畜産	718,405	647,362	1,365,767	
農業サービス	10,372	9,789	20,161	
林業	61,983	8,345	70,327	
漁業	2,998	8,947	11,945	
鉱業	0	42,085	42,085	
畜産食料品	6,299	10,733	17,032	
水産食料品	46,667	9,926	56,593	
その他の飲食料品	74,969	4,523	79,492	
飼料・有機肥料	22,723	28,782	51,505	
木材木製品・家具・装備品	44,042	78,779	122,821	
パルプ・紙製品・印刷	5,192	0	5,192	
石油・石炭製品	3,143	0	3,143	
窯業土石製品	34,528	6,730	41,258	
鉄鋼・金属・機械	0	4,262	4,262	
その他の製造品	0	5,164	5,164	
建設	774,095	275,821	1,049,916	
電力・ガス・上下水道、廃棄物処理	102,550	44,578	147,127	
商業	295,096	290,382	585,478	
金融・保険	13,222	3,730	16,952	
不動産業	339,778	201,837	541,615	
道路旅客	24,390	10,991	35,382	タクシー、バス
道路貨物	64,424	141,637	206,061	
その他運輸、水運・航空付帯サービス	17,581	4,929	22,510	
旅行・その他運輸付帯サービス	9,377	33,539	42,915	旅行代理店、観光案内所
情報通信	3,194	0	3,194	
公務	454,353	105,188	559,541	
学校教育・研究	56,348	45,172	101,520	
社会教育	0	17,229	17,229	博物館、自然観察施設等
医療・保健	219,795	50,014	269,809	
社会保障・福祉・介護	215,784	139,498	355,282	
他に分類されない会員制企業団体	128,650	22,327	150,977	
物品賃貸サービス	14,667	578	15,245	
自動車整備・機械整備	29,266	30,092	59,357	
その他の対事業所サービス	19,369	4,883	24,253	
宿泊業	234,823	820,078	1,054,901	旅館、ホテル、保養施設等
飲食サービス	120,854	39,102	159,956	観光関連
洗濯・理容・美容・浴場業	9,713	3,559	13,272	
興行・スポーツ・公園・ガイド等	10,570	12,223	22,793	自然公園、ガイド、アイヌ興行等
その他の娯楽	23,890	0	23,890	
その他の対個人サービス	10,096	1,994	12,089	
事務用品	6,334	5,042	11,376	
分類不明	21,925	17,455	39,380	
生産額計	4,329,692	3,196,376	7,526,068	
うち、観光関連分野	400,014	933,161	1,333,176	
シェア	9.2%	29.2%	17.7%	

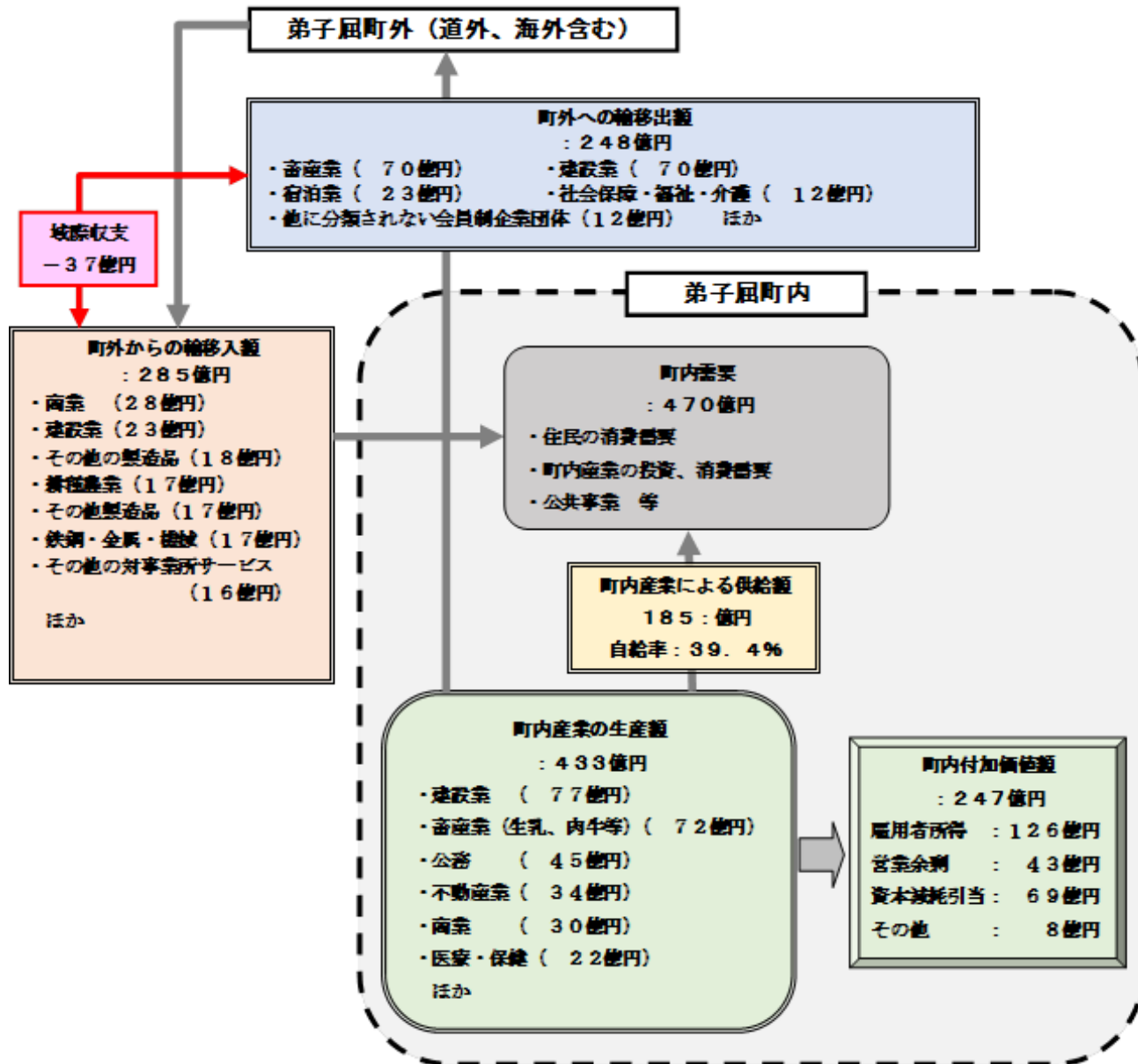
注: 網掛けは上位5業種を示す(ただし、持ち家のみなし家賃換算が含まれる不動産業を除く)

<阿寒摩周地域の経済循環構造の詳細>

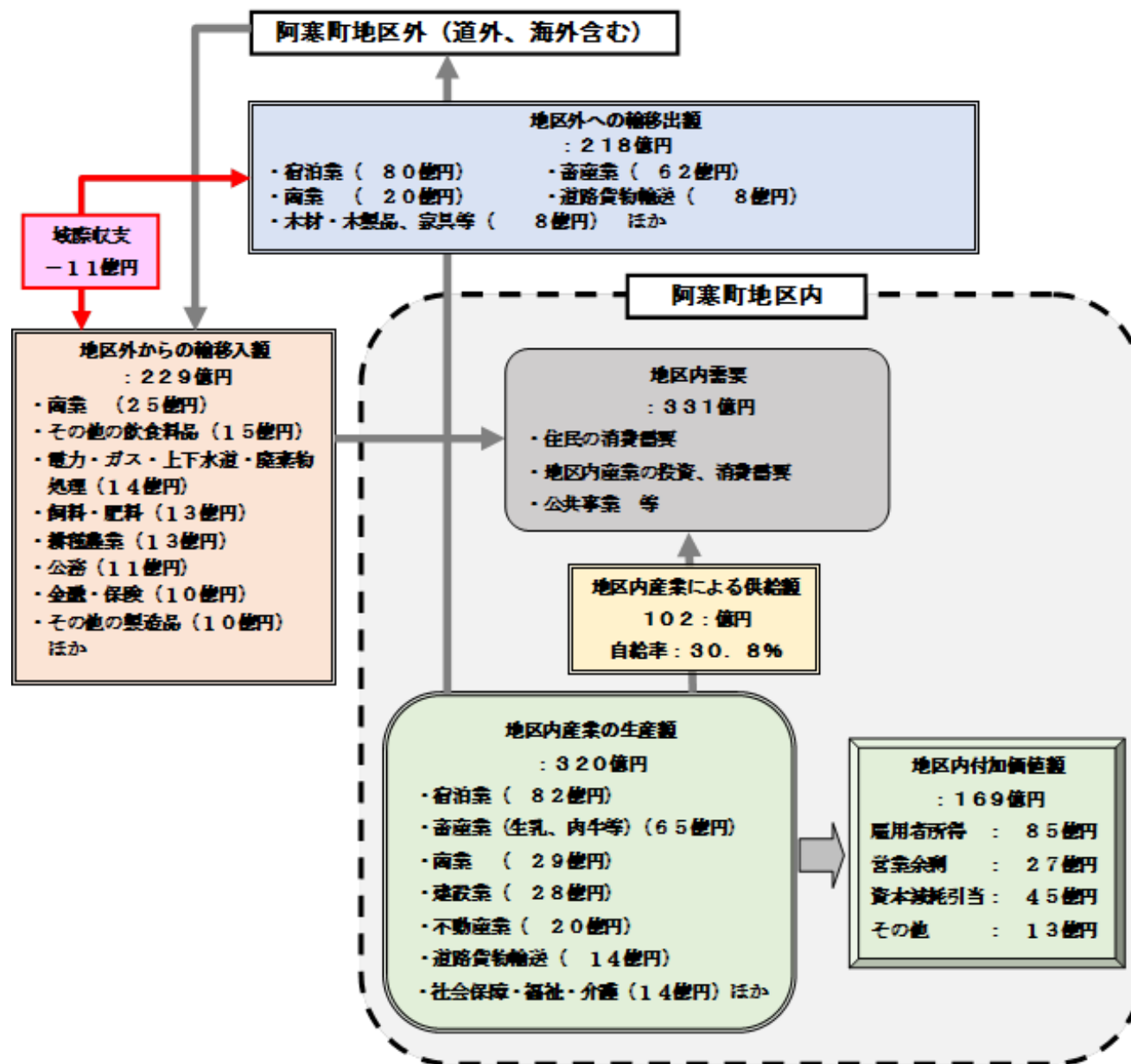


	住民1人 当り付加 価値額 (万円)	就業者1 人当り付 加価値額 (万円)
阿寒摩周地域 (令和元年)	359	687
北海道平均 (平成27年)	385	847
全国平均 (平成27年)	431	930

(参考：弟子屈町の経済構造)

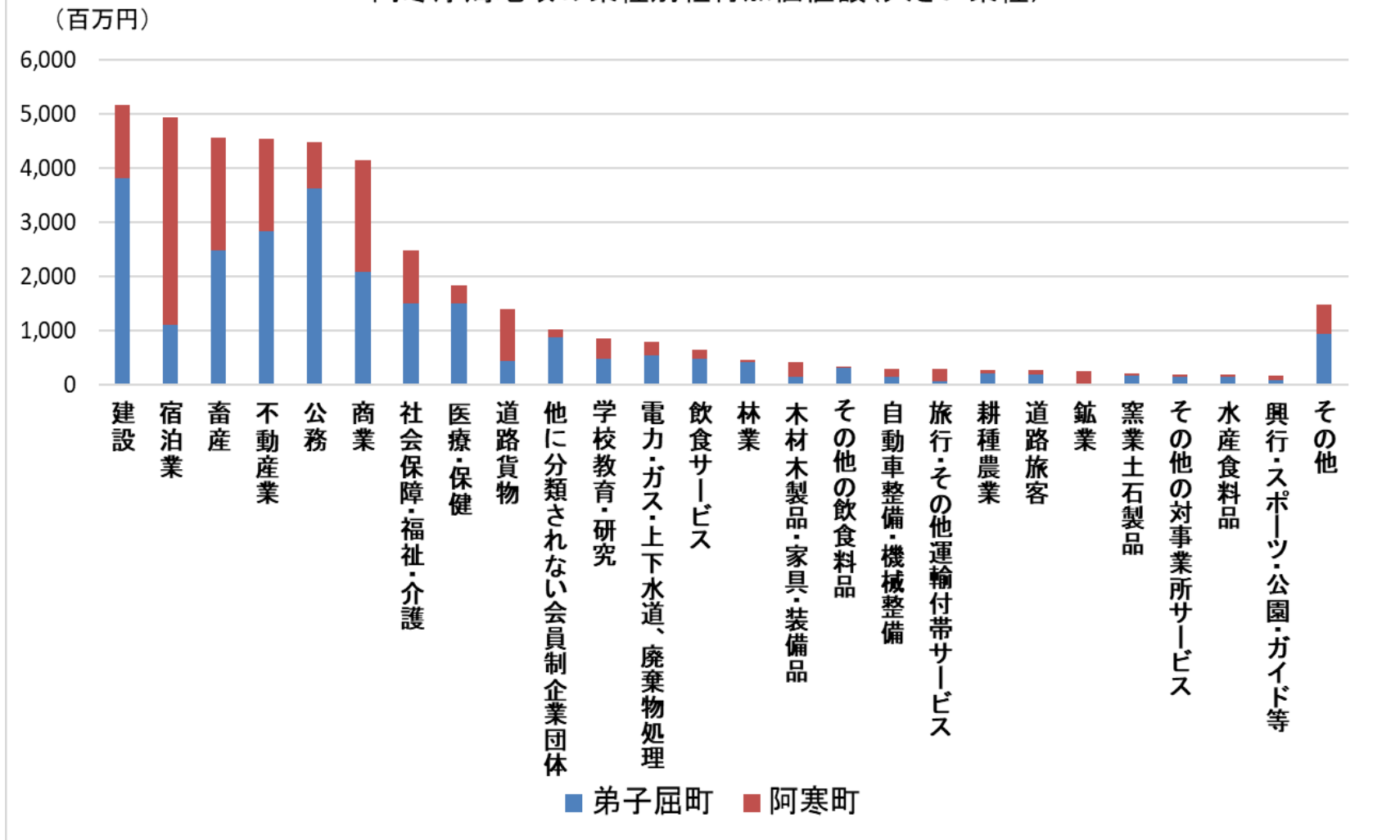


(参考：釧路市阿寒町地区の経済構造)



阿寒摩周地域で所得を生み出している産業

阿寒摩周地域の業種別粗付加価値額(大きい業種)



地域で生み出した所得のうち、地域に留まり、活かされている割合

どこに売っているか

何を買ったか。何に支払ったか

		中間需要		最終需要部門			地域内需要	輸移入	地域内生産額
		産業(生産品目)	中間需要計	消費	投資	輸移出			
中間投入	産業(生産品目)	原料・資材・エネルギー等の取引							
		中間投入計							
付加価値		雇用者所得							
		営業余剰							
		減価償却							
		間接税等							
		付加価値計							
		地域内生産額							

支出額：住民や企業の消費や投資
⇒地域産業が生み出した所得の支出構造



流出分

- ・住民や企業の地域外消費
- ・民間企業の地域外での投資

付加価値計：経済活動別付加価値額
⇒地域産業が生み出した所得



流出分

- ・地域外から当地域に通勤している人の所得
- ・地域外の本社等の経費分

地域で生み出した所得のうち、地域に留まり、活かされている割合

- 付加価値額：416億円

流出：地域外から当地域に通勤している人の所得

雇用者所得の11.6%⇒25億円

：地域外の本社等の経費分 その他所得の23.6%⇒49億円

⇒地域に残った付加価値額：343億円

- 地域外に流出する消費・投資

住民の消費：全消費支出の42%が地域外消費

企業の消費：全消費支出の65%が地域外消費

全消費支出の52%が地域外 ⇒145億円

民間企業の投資：民間投資額の21%が地域外投資⇒6億円

⇒地域内に留まった消費・投資額：192億円（343億円－151億円）

地域で生み出した所得のうち、地域に留まり、活かされている割合⇒46.1%
（192億円／416億円）

<阿寒摩周地域経済の現状と課題のまとめ>

課 題

- 本地域は、畜産業、宿泊業を中心とした観光関連産業、建設業が生産額、付加価値額、域際収支の黒字額の大きさからリーディング産業
- それに対して、その他の産業は格差が大きい。
- このため、地域で生み出された所得が、十分に地域に回っていない状況となっている。
- 一方、畜産業では、高齢化問題、後継者問題を抱えているほか、観光関連産業では、新型コロナウイルスによる低迷からの早期回復、建設業では、高齢化問題のほか、公共事業の停滞など、本地域のリーディング産業を取り巻く環境は厳しい

今後の取り組み課題

- まずは減少傾向およびコロナ禍で停滞している観光客の復興が重要
- 特に、自然志向型の観光に対するニーズの高まりなどを背景として、本地域の自然資源を活用した新たな観光振興の取組が重要
- 持続可能な観光地運営を実現していくためには、地域内の経済循環を高めるための仕組みが重要
 - ⇒地元で宿泊、飲食してもらい、土産品を購入してもらう。
 - ⇒飲食では、地元で生産された食材を使い、消費してもらう。
 - ⇒土産品は、地元で生産された材料等を用いるのが望ましい。
 - ⇒老朽化施設、機器設備等の円滑な更新ほか、新たな投資を生み出す好循環を実現していくことが重要